

プ ロ グ ラ ム

第四回伊勢崎合唱団定期演奏会

東京労音新交響楽団伊勢崎公演

歌唱指導曲 …… 呼応計画の歌・祖国の山河に



東京労音新交響楽団 指揮 芥川也寸志

主 催
伊勢崎合唱団友の会
伊勢崎市教育委員会

1962. 6. 3
(37)

レ コ ー ド
楽 器
楽 譜

千 葉 楽 器

電話 一 一 二 八

I 伊勢崎合唱団

指揮 北川 剛
伴奏 矢沢 保

開幕演奏……わかものよ
仕事の歌

才1部 合唱による世界めぐり

= 第四期生中間発表 =

1. 島へ行こう (朝鮮)
朝鮮民謡
2. 熟れたぶどう (中国)
聞捷作詞・麦笛作曲
中国音楽研究会訳詞
3. かわいいあの娘 (インドネシア)
インドネシア民謡
中山英雄編曲
4. おメスザンナ (アメリカ)
フオスター作曲
5. 五月の恋人 (フランス)
アンリ・バシス作詞
ジョセフ・コスマ作曲
6. 小さいぐみの木 (ロシア)
ロシア民謡 楽団カチューシャ訳詞
7. かあさんの歌 (日本)
窪田 聡作詞・作曲
8. 冬から春へ (日本)
(1) 山おろし 原 太郎作詞・作曲
(2) いろり
(3) 春

才2部 明日はぼくらのもの

1. 親友の歌
フレニコフ作曲
2. 呼応計画の歌
ドルコトウスキー作曲
シヨスタコーブイツチ作曲
合唱団白樺訳詞

3. 戦車兵とトラクター手
向形作詞・泰西娃作曲・竹内実訳詞
4. 社会主義好
李 煥之作曲・中央合唱団訳詞
5. 7月26日の歌
キューバ歌曲・井上頼豊訳詞
6. 心はいつも夜明けだ
永山 孝作詞・荒木 栄作曲
7. 夜明けの歌
門倉 詠作詞・寺田伸夫作曲
8. 明日はぼくらのもの
窪田 亮作詞・関 忠亮作曲

才3部 輝く未来をめざして

- 現代ソビエト歌曲より—
1. ロシヤ
ハリトーノフ作詞
ムラジャエリ作曲
関 鑑子訳詞
 2. タベの集い
クバーラ作詞・ボロンスキー作曲
合唱団白樺訳詞
 3. モスクワ郊外の夕べ
マトソフスキー作詞 ソロブイエフ・セドイ作曲
合唱団白樺訳詞・中山英雄編曲
 4. エルペ河
シヨスタコーブイツチ作曲
 5. はるかな星へ
ボルービン作詞・トウリコフ作曲
合唱団白樺訳詞
 6. 輝く道
ドナエフスキー作曲

靴とカバンの御用名は 久保田靴鞆店 伊勢崎市本町 {1丁目店(電)930 4丁目店(電)1603}	洋画・材料・額縁各種 創美社 伊勢崎市日吉町36	東京文化服装学院連鎖校 伊勢崎洋裁学院 入学日 十月五日 伊勢崎市川岸町一三番地 電話(伊勢崎)四八七番 院長 高畑つぎ
生 そ ば 大むら 市役所前 電話397番	登山・ハイキング用品 磯部運動具店 本町二丁目 TEL15	

Ⅱ 東京労音新交響楽団

指揮 芥川 也寸志

1. 交響詩「フィンランディア」……………シベリウス作曲

2. 交響曲 才 5 番 ホ短調……………チャイコフスキー作曲

東京労音新交響楽団について

東京労音がつくられてから、1年半たった。昭和31年2月、東京労音の会員の中でも、何とも音楽が好きで好きでたまらないという連中が、「俺達の手でオーケストラをやろう」と、めいめい自分の楽器を持って、小はイガグリ頭の高校生から、大は40才がらみのおじさんまで40名近く集って、できたのが『労音アンサンブル』この「労音アンサンブル」が新交響楽団の前身です。

そして、この「アンサンブル」とはいいかねる「アンサンブル」が早くもその2ヶ月後には、労音の依頼で高円寺会館で初演奏をして以来、労音の総会や、各地域のつどいにしばしば出演するようになった。しかし、出演が度重なるにつれて、新しい曲や、大曲を練習する余裕がなくなり「自分達で合奏を楽しむのと、出演とどちらが大切か？」論議の結果、「自分達で楽しめばよいという消極的なものでなく音楽の楽しさを一人でも多くの人にひろめて行くべきだ。それには、もつと練習を充分やつてから多勢の人達に聴いてもらおう」という結論になり、しばらく出演を断り練習を充実させていた頃、芥川也寸志氏が指揮棒をふつてくれるという話になった。芥川氏を指揮者に迎えてから、ドレミファも満足に弾けないようなこのアンサンブルも、氏の指揮で次第に充実し、名も「東京労音新交響楽団」と改め団の基礎も固まつて来た。以来「音楽の喜びを一人でも多くの人にひろめたい」という主旨から、名地方の労音の例会をはじめ、オーケストラの演奏会の殆んどない地方に積極的にのりかけて演奏活動をつづけて来た。

現在は、演奏活動を主とする「第一オーケストラ」と技術の習得を主とする「第二オーケストラ」とがあり更には、第三オーケストラ」まで生れようとしている。

今回の伊勢崎公演は「第一オーケストラ」による演奏である。

専門オーケストラの持つ技巧には及ばないが新交響楽団の演奏が聴衆に与える分団気の中には、本来の意味での音楽というものがある。それは、よい音楽の本質にふれるものを新交響楽団が持っているからであり、又、仿く者の心を演奏するからであり仿く者の熱い共感を呼び起こすものがあるからである。

化粧品
アクセサリー
日用品

資生堂チエーン
神倉商店

新町通り
電話 一〇三三番

名代饅頭

親玉本店

TEL 467

働く人の幸はせは

労働金庫から

労働金庫伊勢崎出張所

TEL 1742

古綿打返し 寝具一式
毛布 夜具 地
新綿製造販売

峰岸綿店

伊勢崎市新町 電話1260番

群馬県労生協 指定
伊勢崎地協

セキネ靴店

泉町駅通り
TEL 1254

良い音楽をより沢山の人々に

「伊勢崎合唱団友の会」は昨年の伊勢崎合唱団第3回定期演奏会を契機として生れました。『良い音楽をより安くより沢山の人々に』聞いてもらうために、今、全国に『労音』（勤労者音楽協議会）が92結成され40万人の会員を持っています。県内にも高崎労音（4,000人）と太田、足利を中心とした両毛労音（1,800人）があります。この『伊勢崎合唱団友の会』は昨年までの3回の伊勢崎合唱団定期演奏会に集まった1,000人を越す沢山の仲間を中心として組織され、『労音』と同じような働きを持つ会として運営されています。この『伊勢崎合唱団友の会』を足がかりとして『伊勢崎労音』をつくらうという動きがありますが、そのためには、各職場や、各サークルで会員組織をまとめ、これを班』として固めることと、私たち伊勢崎合唱団員以外に、もつと沢山の働き手が出てくるが必要になって来ます。これらの仕事は地域の沢山の仲間達の支えがなければ、とてもできることではありません。地域の音楽活動を発展させ、うたごえ運動に参加する人達の層をもつと厚くし、もつと広くするために、又、私たち働く者の生活の中から私たち働く者の音楽が芽ばえて来るためにも『伊勢崎労音』をつくりあげていくことは必要なのではないでしょうか。今日、この演奏会に來られたみなさんのこれからのご協力を特にお願ひします

1962年6月 伊勢崎合唱団友の会

(ご) (挨) (拶)

私たち伊勢崎合唱団が昭和34年に生まれてから今年で4年目をむかえました。昨年の第3回定期演奏会の後、新たに入団した40余名の第4期士を含めて、私たちは音楽技術の習得や、団員同志の話しあいや、又、日本のうたごえ、群馬のうたごえ、伊勢崎のうたごえを始めとして様々な集りに積極的に参加し、職場サークルの歌唱指導などにも力を入れて、ここ一年活動して来ましたが、昨年の日本のうたごえコンクールでは、初めて参加して第3位に入賞しました。この活動を通してみなさんのきびしいご批判、あたたかいご援助とを得て、ここに第4回定期演奏会をもてる運びとなりました。特に昨年から、会員組織がつくれ、私たちの活動に一層のご支持が得られていることに感謝いたします。これからも沢山の人々にうたごえを広め、明るくしかも健康で、私たちに明日への勇気を与えるうたごえで、私たちすべての輝やかな未来を築くために、共にがんばりたいものと考えています

1962年6月3日 伊勢崎合唱団



芥川也寸志

1925年生れ 昭和24年芸大卒
現在、楽壇最多忙の作曲家である。
映画音楽、純音楽、ミュージカル、TV放送、執筆等の分野で、大活躍をされている。代表的作品である『管絃楽のための三楽章』と『交響管絃楽のための音楽』は新鮮なハーモニーで、ひろく国内はもちろん、国外でも親まれている。

昭和30年11月より東京労音、新交響楽

団の指揮者に迎えられ、初めは、西も東もわからない素人の集りであつた。新響の前身である『労音アンサンブル』をまとめあげ、交響曲や、協奏曲を演奏する途に、現在の新交響楽団を育てた努力は驚嘆に価する。

『日本のうたごえ』には、新交響楽団の指揮者として毎年参加し『うたごえ運動』における功績き大きい著書には、ユニークな音楽論を展開した『私の音楽談義』がある

北川剛

大正10年島根に生る。武蔵野音大音楽科卒。声楽をウーハーペーニツヒに師事。戦争中ブーカルフオアの団員として活躍。戦後合唱団白樺帯任指揮。伊勢崎合唱団講師。合唱団指揮者協会委員。労音指揮者クラブ委員長として、合唱指揮に、評論に、また歌手として多角的な活動をしている。著書や正しい合唱講座（飯塚書店）者人の合唱曲集（音楽の友社）ロシア民謡 アルバム（音楽の友社）合唱のともしび（国際音楽書店）

南銀座通り 児島クリーニング店 電話 603番	紳士・婦人服ネーム 浦中洋服店 市内本町五丁目3番地	吉山薬局 電話 伊勢崎市南銀座通り 二二八番
モードスタイルセンター 大切なお金で上手なおしゃれ スワイル 細野 伊勢崎市新町 46	服地と呉服 大野呉服店 西町通り TEL 1007	

歌の計画応呼

詞 作
曲 訳
イ 樺 枝
キ 白 伊
ス 白 伊
ウ コー
ト 団
マ 唱
ル 合
ド 合
ショ

はやすぎずに



さ や かな あ さは よ ぶ - か わ も の



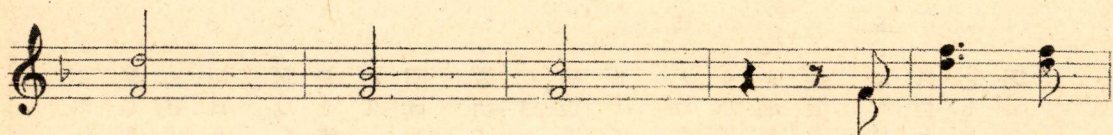
く かぜ は ー た の し か ら す や



き　け　　　　　　き　て　きの　う　たごえ



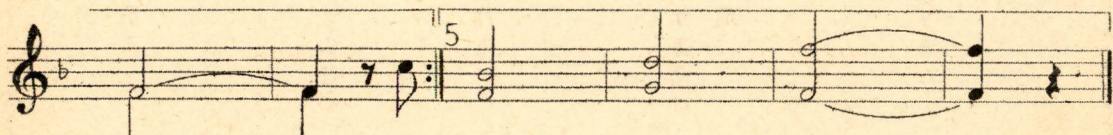
め ざ め よ こ う ば は あ



か つ き あ す を



ま　　つ　　そ　　こ　　く　　は　　た　　て



り　　一　　か　　た　　て　　り　　一

祖 国 の 山 河 に

一、はればれとした秋空に

平和の鳩がとんでいる

美しい祖国の祖国の山河に

まばゆい光がそそいでいる

僕等の町を世界の国を

明るくたのしくするために

世界の仲間と手をつなごう

しっかりとちり肩をくもう

二、青々とした島影に

平和の旗がなびいている

美しい祖国の祖国の山河に

元気なうたがえあふれている

(以下繰返し)

三、暗い世界のいばらの道を

明るくひびく僕らのうたがえ

美しい祖国の祖国の山河に

若い熱意がもえている

僕らの町を世界の国を

明るく住みよくするために

世界の仲間と団結しよう

平和を守ってつきすすもう

平和を守ってつきすすもう

つきすすもう

呼 応 計 画 の 歌

一、さやかな朝は呼ぶ川面ゆく風は

榮しからずや聞け 汽笛の歌声

めざめよ工場はあかつき

明日を待つ祖国は起てり

二、限りなき喜び歌声は応え

友は微笑む見よ 呼応の陽はのぼる

われらの若き血こそが

明日を待つ祖国は起てり

三、労働は我を呼び友に呼びかける

ゆけともにいざ 呼応計画へ

硝煙のナルが彼方に

明日を待つ祖国は起てり

四、わかものは祖国とともにすすみゆけ

やがて新しき日 われらが前に

未来のよき国めざして

明日を待つ祖国は起てり

五、叫べ若者よまことの人生を

労働と愛をもて 建設にすすまん

ともどもに強き愛もて

明日を待つ祖国は起てり